

化学シリーズ【化粧品概要】〈バック受講料 13,000 円 講座番号 P02 (オンライン)・P02-1 (会場)〉

オリエンテーションと化粧品概論

【全1回】 受講料：3,500 円 定員：オンライン 50 名／会場 20 名

本講座は、化粧品を学びたい人にとって手引きとなる啓発書として刊行した「化粧品科学へのいざない」(業事日報) をもとに、化粧品に関わる科学技術を俯瞰しつつ、化粧品の生活や文化との関わり (QOL) の側面も含めた化粧品の概要を解説します。

【全1回】・5月10日 (土) 13:00～14:30

講師 ● 坂本 一民 東京理科大学 創成理工学部 先端化学科 客員教授

K07
オンライン



K08
会場型

化粧品のめぐる心理学

【全1回】 受講料：3,500 円 定員：オンライン 50 名／会場 20 名

化粧品は不要不急の行為で、楽しみとして行うものですが、人々の嗜好厚生に寄与するという側面も有しています。本講座は化粧の歴史を、生物の進化という巨視的な視点、西洋対日本という比較文化的視点、明治維新以降の日本という近代史的視点など、レンズの拡大率を変えながら振り返ります。さらに、スキンケアとメイクの区別、油と水、衛生観、公と私、楽しむ化粧と磨る化粧、スキンケア・メーカーシップ・フレグランスの心理効果など総合的に解説します。

【全1回】・6月7日 (土) 13:30～15:00

講師 ● 阿部 恒之 東北大学大学院 文学研究科 教授／博士 (文学)

K09
オンライン



K10
会場型

化粧品とビジネスアライアンス

【全1回】 受講料：3,500 円 定員：オンライン 50 名／会場 20 名

どの業界でも NIH(Not Invented Here) に拘らず、PFE(Proudly Found Elsewhere) の導入も検討されている今日、化粧品もその例外ではありません。本講座では化粧品業界の特性を理解しつつ、同業や異業種とどのようにアライアンスを組むことにより自社の弱みを補い強みを更に強化するか、その基本的な考え方と事例を解説します。

【全1回】・7月5日 (土) 13:30～15:00

講師 ● 神田 不二宏 武蔵川女子大学 客員教授／工学博士

K11
オンライン



K12
会場型

化粧品の科学技術史

日本処方方のルーツを辿る

【全1回】 受講料：3,500 円 定員：オンライン 50 名／会場 20 名

明治以降の日本の近代化粧品は、時代の変化とそれに伴う消費者嗜好の変化に合わせて、次々と新しい化粧品を生み出し発展し、日本独特の化粧品文化を作り出してきました。本講座では、日本における近代化粧品の歴史の変遷を具体的な事例を交え紹介し、新しい化粧品技術がどのような経緯で生まれるかを紐解きます。一方で近年、韓国コスメの台頭により、化粧品技術の高さだけではヒット商品になり得ないことが明らかになってきていることから、日本の化粧品処方方の強みと弱みを考え、これからの日本の化粧品技術の発展の方向性についても言及します。

【全1回】・7月19日 (土) 13:30～15:00

講師 ● 南野 美紀 株式会社ベルグウィース 取締役 副社長／武蔵川女子大学 客員教授
(薬学部健康生化学薬科学科)／医学博士／薬学博士／経営学修士

K13
オンライン



K14
会場型

化学シリーズ【化粧品基礎】〈バック受講料 13,000 円 講座番号 P03 (オンライン)・P03-1 (会場)〉

化粧品の原料

【全1回】 受講料：3,500 円 定員：オンライン 50 名／会場 20 名

それぞれの化粧品には使用されている原料の名前がパッケージに記載されています。そのため、どの化粧品にどのような原料が使われているか知ることは容易となりました。しかしながら、その名前を見ただけではその原料がどのような物質であるか理解することは簡単ではないと思います。本講座では化粧品に用いられる原料の理解を助けるため、それらをいくつかのグループに分けて解説します。

【全1回】・6月7日 (土) 10:30～12:00

講師 ● 早瀬 基 花王株式会社 研究開発部門 上席主任研究員

K15
オンライン



K16
会場型

化粧品の成り立ち

【全1回】 受講料：3,500 円 定員：オンライン 50 名／会場 20 名

日常生活に欠かせない化粧品の多くは、水や油や粉体など、互いになじまない素材が巧みに組み合わせられて作られます。本講座では、生活社会環境に応じた化粧品訴求と技術の変遷をたどったのち、化粧品製剤のなりたちと機能を発揮させるための仕組み、素材の使い方について解説します。

【全1回】・7月1日 (火) 18:30～20:00

講師 ● 鈴木 敬幸 東京理科大学 創成理工学部 先端化学科 客員教授／工学博士

K17
オンライン



K18
会場型

化粧品の基礎：界面化学

【全1回】 受講料：3,500 円 定員：オンライン 50 名／会場 20 名

化粧品は、固体／液体、液体／液体、液体／気体などの各種界面の制御技術により作られており、また使用後は、肌や毛髪などの界面との相互作用により機能を発現します。本講座では、化粧品技術の中核をなす界面化学について平易に解説します。

【全1回】・7月12日 (土) 13:00～14:30

講師 ● 酒井 秀樹 東京理科大学 創成理工学部 先端化学科 教授／
東京理科大学 総合研究院 界面科学研究部門／博士 (工学)

K19
オンライン



K20
会場型

化粧品の乳化・可溶化

【全1回】 受講料：3,500 円 定員：オンライン 50 名／会場 20 名

水と油は互いになじまない物質の代表例ですが、両者とも多くの化粧品の重要な処方原料として用いられています。乳化とはこのような選ばれない複数の液体からなる分散系で、やがては分離する不安定な混合系ですが、乳液やクリームのような化粧品の基本となる製剤化技術です。一方、可溶化とは化粧水のように油性性の香料や有効成分などを水に安定に溶かす技術です。本講座ではこれら化粧品の製品開発の基盤技術である乳化・可溶化を分かり易く説明します。

【全1回】・7月19日 (土) 10:30～12:00

講師 ● 山下 裕司 神奈川大学 化学生命学部 生命機能学科 教授

K21
オンライン



K22
会場型

化学シリーズ【化粧品の肌への作用①】〈バック受講料 9,500 円 (オンライン)・6,000 円 (会場) 講座番号 P04 (オンライン)・P04-1 (会場)〉

化粧品と皮膚 美と健康は表裏一体

【全1回】 受講料：3,500 円 定員：オンライン 50 名／会場 20 名

以前は美人寿命と言われていましたが、最近の研究では、見かけの年齢が実際の年齢より若く見える人の方が長生きするという報告があります。見かけ年齢には、お肌(皮膚)の健康状態や、シワ・タルミ・シミなどによる外見が影響します。今回は、皮膚の構造や機能から健康な肌について解説し、加齢とともに紫外線や日々のライフスタイル、食生活がどう肌の健康に関係しているかを説明します。結果的に肌の健康を目指すことで、健康長寿の実現にもつながるというお話をします。

【全1回】・7月12日 (土) 15:30～17:00

講師 ● 井上 神太郎 岐阜薬科大学 香粧品健康学講座 特任教授／博士 (薬学)

K23
オンライン



K24
会場型

化粧品の評価

【全1回】 受講料：3,500 円 定員：オンライン 50 名／会場 20 名

化粧品の目的は、健やかな皮膚の維持と美しく魅えることにあります。健やかな皮膚あるいは肌は、適度な潤いがあり、ツヤや透明感があり、肌色にムラがなく、ニキビやシミ、シワがない状態といえます。化粧品を使って、そのような理想的な肌になっているかどうかは、角質の水分量、皮脂量、弾力、光学的な色、形態などを非侵襲的な計測と比較することができます。また、化粧品は継続して使用されるものですから、心地よい使用感が求められます。使い心地は機器測定では難しく、官能評価と言って人の感覚による評価が主流になっています。評価項目や手順など、正しく官能評価するためコツがあります。さらにはメイクアップ化粧品のように、仕上がり良さを評価するときの注意点もあります。製品ごとの違いや実験結果を可視化することにも工夫がされています。それらの実例をあげて、分かりやすく講義したいと思います。

【全1回】・7月18日 (金) 18:30～20:00

講師 ● 菅沼 薫 日本薬学会理事 (前会長)／武蔵川女子大学薬学部客員教授 (※2025年3月までの員書)

K25
オンライン



K26
会場型

化粧品の安全と安心

【全1回】 受講料：3,500 円 定員：50 名

化粧品は多くの人たちが一生のうちの長期間にわたって使用するものであり、化粧品が重篤な健康被害をもたらすことは滅多になく安全なものと考えられています。これは化粧品が使用されたとき、ヒトの健康に危害を与えないことを示すために設計された予知的安全性評価に支えられているためです。

本講座では化粧品の開発における、化粧品の安全を立証するための考え方と取り組みについて解説します。
※会場型/バックには含まれません。

【全1回】・9月5日 (金) 19:00～20:30

講師 ● 小島 肇 公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学 工学部医薬工学科 教授

K27
オンライン



K27
会場型



化粧品と皮膚科学的応用

K28
オンライン

K29
会場型

【全1回】 受講料：3,500 円 定員：オンライン50名/会場20名

皮膚疾患の患者に対しては、社会生活における生活の質（Quality of life: QOL）を向上させることに留意しながら治療を進めていく必要があります。本講座では尋常性座瘡（ニキビ）、アトピー性皮膚炎、ヘアダイによる接触皮膚炎（かぶれ）などを取り上げ、皮膚疾患に対する化粧品の具体的な活用法をお話しします。また、サンケア製品など皮膚疾患の予防に有用な化粧品についても解説します。



希望期 【全1回】・9月6日（土）10：30～12：00

講師 ● 中田 土紀文 昭和大学緑が丘病院 皮膚科 診療科長 教授



しわに対する化粧品・医薬部外品とその成分
～有効成分の経皮吸収とその製剤～

K32
オンライン

K33
会場型

【全1回】 受講料：3,500 円 定員：オンライン50名/会場20名

しわはどういうメカニズムでできているのでしょうか？
本講座では、皮膚の構造を説明しながらわかりやすく「しわ」のできるメカニズムを講義します。できるメカニズムがわかれば、改善する方法も理解できます。
現在、しわに対する化粧品や医薬部外品が販売されていますが、これらに含まれる有効成分の役割とその効果について詳しく学びます。有効成分の物性などから皮膚（角層）内に入り込みやすい化合物などについても学びます。さらに、有効成分と化粧品処方に関して受講生の皆さんと一緒に考えたいと思います。



希望期 【全1回】・9月27日（土）10：00～11：30

講師 ● 徳留 嘉寛 佐賀大学 教育研究院 自然科学域 理工学系 教授



化粧品有効成分の皮膚浸透

K30
オンライン

K31
会場型

【全1回】 受講料：3,500 円 定員：オンライン50名/会場20名

みなさんが日常お使いになっている化粧品では、薬機法に基づいて定められた範囲内で効能効果の標榜が可能です。例えば、「シワが消える」や「たるみやフェイスラインの引き上げ効果がある」などと標榜することはできません。クスリとは違うのです。では化粧品や医薬品を肌に塗ったとき、これら製品中の各成分は皮膚に浸透しているのでしょうか。本講座では、化学物質の皮膚浸透と皮膚透過について説明します。



希望期 【全1回】・9月20日（土）10：00～11：30

講師 ● 杉林 堅次 城西国際大学イノベーションベース代表 特別栄誉教授/薬学博士

